

死 亡 証 明 書

陸・海・邦

資 料 提 供 者		死 亡 者																						
死 亡 知 方 法		遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	諸 死 亡 場 所	亡 死 亡 日 時	死 死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 域 名	固 有 通 称	細 部 所 属	地 区 局 面	役 種	兵 種	死 亡 時 階 級 (業 務 名 義 又 は)	氏 名	年 月 日 生	性 別		
当時の状況から見て推定			遺骨は佐々木に安葬中	マラリヤ	スラバヤ(一〇二病)	昭和二十年六月七日頃	※ 戦病死			内						※ スラバヤ								
死 亡 者 と の 関 係		本人は、マラリヤ病に入院のため昭和二十年四月五日ケモールに赴き、ワバンから軍艦五イ鈴に便乗し、同船は二十年四月七日スラバヤ近海で敵潜水艦撃沈を受け、沈没した。本人は救助され、一〇二病がトリック合院に収容された。 収容後、漸くして病棟にかわつたので、その後のことはよく判らなかつたが、本人は当時マラリヤに罹つてゐたので、同院で死したものと見う。 二十年六月七日、同院には死を看みかかつたらしい、その死を看みたのは、本人かと思ふ。																						
現 住 所		三 補																						
職 務 (所 属 部 隊 職 域)		三 補																						
名 氏 (階 級 名 義)		一 曹																						
死 亡 当 時 の 状 況 及 び 参 考 資 料		本人は、マラリヤ病に入院のため昭和二十年四月五日ケモールに赴き、ワバンから軍艦五イ鈴に便乗し、同船は二十年四月七日スラバヤ近海で敵潜水艦撃沈を受け、沈没した。本人は救助され、一〇二病がトリック合院に収容された。 収容後、漸くして病棟にかわつたので、その後のことはよく判らなかつたが、本人は当時マラリヤに罹つてゐたので、同院で死したものと見う。 二十年六月七日、同院には死を看みかかつたらしい、その死を看みたのは、本人かと思ふ。																						
留 守 担 当 者		統 柄 (妻)																						
名 氏 (現 住 所)		三 補																						
名 氏 (階 級 名 義 又 は)		上 水																						
名 氏		三 補																						
年 月 日 生		三 補																						
性 別		男																						

裏面記載上の注意をしておいて下さい。(※及び裏面の各欄は記載に及びません)

奈良縣世話騁第二復員科

[illegible]

22

死の場所 十セールの島タロス

死の時 昭和二十一年七月十六日午前〇時半

死の時の状況 高熱十九度、永片も無く又本人は静脈深く輸血する事不能

石の運び 承知してゐるから申送致し

昭和二十三年 四月十四日

軍人番号 第級水兵長

番地

看視住所

の所属部隊 第四警備隊防空隊第二砲台

備考

一 不調書は死後者の身上関係一切を処理するものであり、そのから
慎重に且つ詳細に記入して下さい。

二 他人から聞いたり承知した事項、其の他参考となるべき資料はその
旨、仔細に記入して下さい。

昭和二十一年八月一日発表

元。歿者 謝 善

大 籍 地

現 住 所

所 屬 部 隊

(百。老。部。隊) (一九四〇)

昭和十七年三月十八日

役 種

兵 種

昭和十七年三月十八日

役 種

兵 種

昭和十七年三月十八日

昭和十七年三月十八日

昭和十七年三月十八日

昭和十七年三月十八日

昭和十七年三月十八日

昭和十七年三月十八日

昭和十七年三月十八日

昭和十七年三月十八日

海軍徴用北支五萬九千餘人昭和十七年三月以來終
戰迄昭南島サハシ方面戰死征斃ニ從事ス
昭十七年七月十八日ハ沖入埋込上、於テBト
交戦ニ付、斃死ス

宮崎縣

殿是名良君

本籍地	現住所	所屬部隊	入籍年月	官等級	内地海陸出役年月日	戦地戦時年月日	勤務ノ概要	備考(受給部位)
		第二十警備隊	不明	一等	不明	不明	勤務地不明 勤務内容不明 下等兵より機銃班長に昇格 昭和五年に戦死した	戦死(受給)年月日 昭和五年(日)不明(戦死)

59-41

又ハ死ニ至リテハ其ノ心ヲ
死ニシテハ其ノ心ヲ

鹿耳門
下
鹿耳門
下

卷之五

明倫彙編 家範典 卷一百一十五

[REDACTED]

卷之四

宣
時
殿

入編番號

德 考

一本國糧食產院長又八國聯取振等與地力復員局人事部起究通報不中

責任者に於て知得する事
部より之ノミニ付記せ

一吳鎮在靖。特務士官崩士官。下士官兵。二付配額。

與同縣人。勿論他府縣出身者。就字毛記。數不

四知得シアル範圍ニ於テ出來得ル限リ詳細ニ記載ス

二、他人の事務に干渉せず、各該業務に相手方と配分

死毀者調

本籍地	現住所	所属部隊	入国年月日	等級	内地帰還年月日	内地滞在年月日	勤労努力	然るに月給に罪を思ふも確言を日	数方りマア中加重固と思わしむ	要約二三ト計す入意事も有り	記憶せず	口も思ひず
		二一警	記憶せず	海軍一等兵	記憶せず	記憶せず	勤労努力	然るに月給に罪を思ふも確言を日	数方りマア中加重固と思わしむ	要約二三ト計す入意事も有り	記憶せず	口も思ひず
			後種	現役	内地帰還年月日	内地滞在年月日	勤労努力	然るに月給に罪を思ふも確言を日	数方りマア中加重固と思わしむ	要約二三ト計す入意事も有り	記憶せず	口も思ひず
			後種	現役	内地帰還年月日	内地滞在年月日	勤労努力	然るに月給に罪を思ふも確言を日	数方りマア中加重固と思わしむ	要約二三ト計す入意事も有り	記憶せず	口も思ひず

昭和二十五年 九月 三日

申告者の				等級		氏名
入籍番号	現住地	現住所	所属部局	海軍	海軍	
		右	一主警備			

備考

一 本調査は死没者の身の上関係一切を處理するものであるから慎重に且詳細に記入して下さい。

二 他人から聞いて承知した事項は其の箇末尾の餘白に記入して下さい。

證明書

昭和十九年二月三日廿二日
佐世保鎮守府所屬ニ甲種機務トアリ今年四月
月二十四日佐世保出港今年七月二十三日スラハヤ着
海軍運輸部ニ配屬ナル

マカツル近海ノ輸送ニ從事シ居タルモ昭和二十
年四月十四日遭難停機今年七月十五日スラハヤ運

輸部所屬ニ昇格シ機務員甲種長トシテ就職（予

備員船長）今年八月五日マカリア病ノ爲

スラハヤ海軍病院ニ入院加藤中ノ處八月十五日午

前九時息ヲ絶スル

氏名

梅澤章

出生年月日

右證明又

昭和二十一年六月十八日

前市二町二丁目

354-72

48

1154

縣

本人の
取後の通信

形詳

四野駐藤
二六二五

人見流不明者用書

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

四保

三十一
八十一

[Redacted]

配 聚落四

三〇一八一三三三ハヤ口に成

勢地及一野光

降

一五二
22年 4月 21日 奉文

北

21-7-6 候

75

